

# 津幡の空から

石川県学校生活協同組合

## 2018・12月号

### 石川県学校生協黒字化3か年計画の最終年 いしかわ健康経営宣言企業に認定されました！

12月6日(木)午後1時から石川県地場産業振興センターで健康経営宣言企業の交付式があり参加してきました。



いしかわ健康経営宣言企業とは、石川県の健康寿命を伸ばすために、生活習慣病の発症リスクが高くなる働く世代への効果的な取り組みを行う企業を石川県が認定し支援する企業のことです。

健康経営では、企業が従業員の健康に配慮する経営を行います。

- ・メリット①従業員の健康増進→生産性の向上、②優秀な人材の確保、③定着率の向上、④企業イメージアップ、⑤労働災害事故等の防止、⑥医療費の削減

#### 企業の具体的な取り組み

1. 健康づくりのための職場環境整備
2. 健康診断を実施
3. 健診結果の活用
4. 食生活の改善に向けた取り組み
5. 運動機会の増進に向けた取り組み
6. こころの健康
7. たばこ対策
8. 歯と口腔の健康への取り組み

さて、私たちは一体、どんな具体的な取り組みをするべきなのでしょうか。考え中です。

**2018年度11月末決算 104万円の赤字。計画目標より293万円の悪化。**

石川県学校生協の2018年度11月末決算は経常損失金▲104万円です。計画は剰余金189万円ですから293万円の悪化です。11月の業績悪化の原因は、自主供給(売上)では、カタログ供給、全員利用運動、営業部門が目標未達成と指定店供給が伸びなかったことです。しかし、経常損失金が▲104万円と言うのは、今までで一番少ない数字なのです。もう一息で黒字が見えてくる数字です。

供給はアップダウンを繰り返しています。一喜一憂しながらも、年度末には25万円の黒字をゴールにたどり着きたいと頑張っています。

みなさんの石川県学校生協です。石川県学校生協をもっともっと利用してください。お願いします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

### シリーズ 第4回 《ひわの聖母》 北本 豊春

イタリアルネッサンスの大家と言えば、レオナルド・ダ・ビンチ、ミケランジェロ・ブオナローティ、ラファエルロ・サンティの三巨匠になるでしょう。それぞれ特徴のある絵を描いていますが、三人がフィレンツェで活躍したのは一五〇〇年初頭だと言われています。レオナルド・ダ・ビンチは五〇歳で円熟期を迎え、ミケランジェロは三〇歳と売り出し中でした。そこに故郷のペルージャからやってきたのがラファエルロです。まだ駆け出しの二二歳で何とか一旗揚げようと考えたわけですね。ラファエルロは、レオナルド・ダ・ビンチの工房に出入りして、優れた画法に感銘し、自分の絵画に取り入れることになりました。ウフィツィ美術館には、ラファエルロの名画「ひわの聖母」が展示されています。三角形の構図を用いて、落ち着いた雰囲気のある絵画となっています。頂点の位置に着いた聖母マリアがいて、幼児キリストと幼児ヨハネを見下ろしています。ヨハネは、手にひわを持っていて、キリストの方へと差し出しています。

ひわは、キリストが十字架にかけられたとき、頭から棘を抜こうとしたと言われている鳥です。その時返り血を浴びたことから、赤い斑点模様を帯びることになったと言われています。この絵には、キリストの苛酷な未来が象徴的に描かれています。二人の幼児を見つめる聖母の眼差しは優しさに溢れています。ウフィツィ美術館所蔵の「牧場の聖母」にも三角形の構図が見られます。

### 編集後記 「健康野菜の店」開店

細野農園では、無農薬・無化学肥料、有機肥料栽培の野菜を作っています。そして、その野菜を、JA加賀の産直店「元気村」に出荷しています。しかし、この野菜をもっと多くの人たちに食べてもらいたいと思っていたのですが、なかなか良いアイデアが浮かびませんでした。でも、灯台下暗しでした。学校生協の職員に食べてもらえば良いと気が付きました。そこで、週2回学校生協内で「健康野菜の店」を開くことにしました。12月3日が初日でした。小松菜・水菜・アスパラ菜・春菊・源助大根・聖護院大根・聖護院かぶ・みやまこかぶなどを販売しました。ついでに、紅はるかの焼き芋も出しました。元気村価格なので一般のスーパーよりはかなり安いので結構売れました。焼き芋は完売でした。無農薬・無化学肥料栽培野菜を「健康野菜」と名付けて広めていきたいと思っています。毎度ありがとうございます。(ほその)